

## 平林金属

### 家庭資源の有人型回収システム

# グッドデザイン賞受賞

金属・廃車・廃家電など総合リサイクルを営む平林金属（本社・岡山市）が展開する家庭資源の有人型回収システム「えこ便」が、日本デザイン振興会が実施する2016年度グッドデザイン賞の「地域・コミュニティづくり／社会貢献活動」部門に選ばれた。徒歩や車で不用品をいつでも持ち込める利便性や、スタッフと利用者の間のコミュニケーションで廃品という暗いイメージを払しょく、近年増加する違法回収業者の実態を一般消費者に伝える社会的啓蒙活動であることが評価を受けた。「えこ便」がある街を日本「住みよい街」と標榜する平林美社長に、今後の事業展開を聞いた。

（小田 琢哉）

## 平林 実社長に聞く



—初のグッドデザイン賞受賞おめでとうございます。  
「知名度が高い賞をいただいたことで、今まで関わって新卒を採用していれば、り合いがなかった方々からも注目を浴びるようになります。受賞を境にえこ便の新

子の当社リサイクル工場に500組が訪れる高稼働と近い場所からスタートしなっている」  
—今後の事業展開は。  
「目間回収量は、拠点で小型家電以外に缶・段ボール・金属・古紙など家庭の1.20トと工場として見れば少ないが、現時点で岡山を防ぎ、我々業界メンバーの手に戻るかもしれないといろいろな時間帯に持ち込めることから、利用者には好評を得ている。昨年7月、好評を得ている。昨年7月に開設した第1号店「西古松局」（岡山市北区）は、旗艦店と位置付けてマンション街のど真ん中に建築し、街並みに溶け込んだデザインを採用。当初はお客さんが来るかと危ぶんだが、週末は8時間営業で400〜500人という見込みが、前述

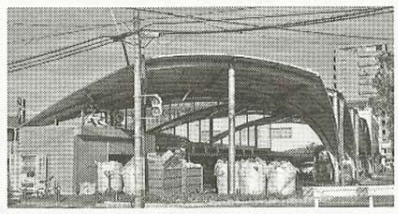
「節目の年にグッドデザイン賞を受賞できたことは非常にありがたい。記念事業として、テレビCM・会社HP・リクルート専用サイトのリニューアルや写真集の出版、また見学者やお客様のSNSを通じた情報発信の機会になればと、リサイクルファーム御津には60周年を記念した廃材利用のモニメントの設置、そして12月にオープンするえこ便並木町局には、エントリーシステムやリサイクルファーム御津に新シュレックダンプを導入するなど、このような新しい時代だからこそ、今できる次の一手の準備を進行中だ」

## 適正リサイクルへ 啓蒙活動推進

### 店舗拡充、移動型の出店検討

えだが、100周年に向けて新卒を採用していれば、40年後の話を彼らに託すことができる」  
—えこ便事業の感触が

「各家庭には多くの資源が眠っている。都市鉱山という言葉があるが、今までの街中には山にできる集積場がなかった。また、違法回収に出さないようにと一般消費者に訴える以上、代替場所を用意する事も責任として必要であり、岡山・米



旗艦店の西古松局はマンション街に建設



利用者との会話も業界のイメージアップに貢献

2016年11月4日（金）の鉄鋼新聞に記事が紹介されました